

特集

北海道新幹線開通直前！

「青・函」連携 深化する

地域全体がレベルアップするチャンス

新幹線開業の経済効果を最大限に生かし、地域活性化につなげようと、函館市では早い段階から各団体がアクションを起こしてきた。その中心を担う官民連携組織「北海道新幹線新函館開業対策推進機構」の事務局として函館商工

会議所が展開してきた取り組みを追う。

観光・産業・交通分野で
アクションプランを策定

道南地域の中心都市として発

展してきた函館市。国内外から年間500万人近い人が訪れ、市町村の魅力度ランキング調査では2年連続1位に輝いた日本有数の観光都市でもある。反面、近年では人口減少が著しく、産業振興や雇用創出が緊急課題となっている。

3月26日、北海道新幹線新青森・新函館北斗間が開業する。これで新青森・新函館北斗間は最速1時間1分、東京・新函館北斗間は最速4時間2分で結ばれることになる。新幹線開業を見据え、企業・人材交流をはじめ、さまざまな連携を推進してきた青森県側と函館市などの道南側。その熱い思いは、どのように結実するのか。

函館商工会議所

北海道函館市

そんな同市にとって、整備計画から42年かかった北海道新幹線開業は待ちに待ったチャンスだ。その効果を最大限活用しようと、平成18年に市、観光協会、函館商工会議所、業界団体などは「北海道新幹線開業はこたて活性化協